



在るに 世界

吉田勇輔 油彩画展

2022年2月5日[土] - 3月6日[日]

開館時間 9時-17時 (入館は16時30分まで)

休館日=月曜

入館料=無料

主 催=八女市、八女市教育委員会

八女市田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL 0943-24-8304

《からすうり (葉月) (長月) (神無月) (霜月)》2017年

★本展覧会に関する情報に変更がありました場合は、当館ホームページによりお知らせいたします。



《恵みの静物》2016年



《棉の花》2016年



《うずら》2017年



《紙ふうせんのある静物》2019年



《灯》2021年

吉田勇輔 油彩画展

そこに在る世界

吉田の探求は、西洋絵画も特に油彩画の源流にあり、表現する材料としての油絵の具や画布などの研究を重ね、自身の確かな描法を構築するに至ります。

久留米市耳納の山麓 静寂な地にアトリエを構え、周辺の花や樹、野菜や卵などの日常目にするものたちを描きます。

吉田が身の回りの何気ないものに目を向けると、絵画として切り取られ、そのものたちは特別な光を放ち出します。細密に描かれた作品は、長い時間をかけ吉田の美意識と技術と想いが凝縮されています。

吉田の作品を前に、あなたは目の前にそのものが存在するような錯覚を覚え、作品に近づいては離れ、細部にまで目を凝らし、じっと見つめることでしょう。

さあ、作品とあなたとの対話のはじまりです。

絵画でありながら、実物以上にリアリティを感じるような吉田の写実絵画の世界をご堪能ください。

吉田勇輔 (YOSHIDA YUSUKE)

1951年佐賀県唐津市生まれ、同地の高校を経て広島大学教育学部美術科を卒業、多摩美術大学大学院美術研究科を修了する。

現在は、久留米大学にて美術講師を務める。これまでに60回にも上る個展を開催している。

【受賞歴】

大野城まどかびあ総合美術展奨励賞、日本芸術センター絵画公募展金賞、西脇市サムホール大賞展優秀賞、ホキ美術館プラチナ展出品、国際美術大賞展準大賞、北九州市美術展Q賞、青木繁記念大賞ビエンナーレ オーディエンス賞 等数多くの賞を受賞している。

関連イベント

アーティスト・トーク

同時代を生きるアーティストに会うことができるのは現代美術の楽しみのひとつです。作品に込めた想いや創作の秘密などをおうかがいします。どんなエピソードが飛び出すのか、当日をお楽しみに。

日時：2月12日(土) 14:00～、2月26日(土) 14:00～

講師：吉田勇輔 会場：八女市田崎廣助美術館展示室

定員：20名 参加費：無料 *申込不要

【交通案内】

車 九州自動車道八女ICより約15分、広川ICより約20分
駐車場無料（八女市役所 立花支所の駐車場をご利用ください）

電車・バス 西鉄天神・大牟田線 西鉄福岡駅～西鉄久留米駅（特急・約35分）
乗換 西鉄バス・八女方面「福島」（約35分）
乗換 堀川バス・迎春平山線「丸野」（約10分）

JR 鹿児島本線 JR 博多駅～JR 久留米駅（快速・約40分）
乗換 西鉄バス「福島」（約35分）
乗換 堀川バス・迎春平山線「丸野」（約10分）

JR 鹿児島本線 JR 博多駅～JR 羽犬塚駅（快速・約40分）
乗換 堀川バス・八女方面「福島」（約35分）
乗換 堀川バス・迎春平山線「丸野」（約10分）

八女市田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL 0943-24-8304

